

まちづくり懇談会内容

日 時： 令和 6 年 11 月 30 日(土)18:30～19:45

場 所： 農村環境改善センター

出席者： 11 人

1. 開 会

2. 町長挨拶

3. 懇 談

(1) 主要施策の取組状況について 資料①参照

(2) 自由懇談

4. その他

- ・資料②参照 ネイチャーポジティブの実現に向けて
- ・資料③参照 紙の保険証の発行について
- ・資料④参照 緊急告知 FM ラジオについて

5. 閉 会

【自由懇談・そのほかの質疑など】

■夕張市のデマンドバスについて

町 民 夕張市のデマンドバスが継立を通過して栗山駅に来ているが、栗山町民が利用することはできるのか。

町 長 今のところ町民は利用することはできない。去年、夕鉄バスが廃止される際に、夕張、由仁、栗山の 3 者で共同運行できないか協議してきた経過はあるが、車両の大きさの関係もあり、夕張から何人乗るか分からないなかで、栗山でも乗れるということにはならなかった。夕張市は、赤十字病院でも停車して、その後には長沼の町立病院にも行く。栗山では、今年角田まで伸ばして、角田から赤十字病院、栗山駅を通過して北広島市へ行く。由仁町は、直接北広島へ行っている。共同運行が合理的なので乗降調査も踏まえて協議していきたい。

■旧菊地医院の取り壊しについて

町 民 ・角田で長年の懸案だった旧菊地医院を解体してくれたことはとてもありがたく思っている。ただ、連合町内会での要請や、これまでのまちづくり懇談会で議論してきたことなので、今年の春のまちづくり懇談会で知らせてくれて良かったと思う。
・今回の工事には 700 万弱かかったと思うが跡地の利用はどうするのか。

建設課長 情報提供については丁寧にやっていきたい。

町 長 コンビニができたという声が多く、工業団地からも要望をいただいている。商業圏は角田と工業団地があるので問題なさそうだが、コンビニは 1500 ㎡ないと難しいと言われており面積が足りない。コンビニの誘致を目指していきたいと思うが周辺の用地が民地なのでいろいろな問題がある。せっかく購入したので更地にしておく考えはない。

■栗山高校の存続と女子野球部について

- 町 民 栗山高校を存続するために、女子野球部ができて部員が増えていることはすごくいいことだと思う。しかし、女子野球の人口が少ないので大会参加へ遠征費の負担や、全道から集まっているので寮生活の負担が大きくなるのではないかな。また、野球部員として 15 人とか入ってくれているけど、女子野球部の取組だけでは栗山高校の存続が心配な面がある。他にいいアイデアとかはあるのかな。
- 教 育 長 遠征費などの諸経費は、後援会やスポンサーで賄っている。大きなところで 50 万円から 300 万円の協力をいただいている、これは北海道の野球連盟とも共有させてもらっている。監督が北海道の女子野球連盟の会長をやっていることもあって、そちらの充実も図らなくてはならないというもの。今年度、来年度の後援会、スポンサーの収益は心配ないと思っている。寮生活の費用の関係は、道内の駒澤、明成、新陽に加え、道外の寮費の状況も調査したが、それらと比べても安価に抑えられている。寮の関係では月に 45,000 円程度の負担が必要になるが、保護者からはありがたいと言われている。また、アイデアの関係では岩見沢教育大学の音楽科との連携を進めている。今の一年生の間口を維持できたのは、全道では栗山高校だけだった。先生たちの人事でも加配をつけてもらっている。いずれにしても課題は付きまとう。多い時もあれば少ない時はある。色々な角度から取り組んでいきたい。
- 町 民 女子野球部の部員たちがイベントに参加してくれている。くりやまハーフマラソンにも参加してくれていてとてもうれしかった。町民としても励みになる。一方で、全部が女子野球部というふうになると生徒がかわいそう。ぜひとも栗山高校を維持してもらいたい。
- 教 育 長 空知全体の子どもの数が圧倒的に減っている。年々減少している。浮き沈みがあるかもしれないが頑張っていきたい。

■栗山高校の女子野球部について

- 町 民 いつまでも女子野球部が続いてほしいと思っている。地域で学校を守っていこうとして取り組んでいるので、栗山中学校を卒業する生徒が栗山高校に進めるように、親も後押ししてほしい。私も野球部の生徒と接する機会があるが、先生たちも含めとても良くしてもらっており、いつも感動している。たまに試合の応援にも行っているが、栗山町に必要だと思っている。
- 教 育 長 スポーツをやりたい生徒が町外に行ったり、将来の目標をしっかりと持っている生徒が町外に行ったりしている。普通科でなく、デザイン、農業、建築など、将来の目標を定めて町外に出る場合が多く、これはキャリア教育としてはいいのかなと思っている。普通科に進む生徒が減っており、おそらく倍率が一倍を超える学校はなくなる。そういうなかでも栗山高校の魅力を引き出して頑張っていきたい。

■水道水の有機フッ素化合物について

- 町 民 道内で水道水に基準値を超える有機フッ素化合物が検出されたという報道がされていたが、栗山町の水道は大丈夫なのか。
- 町 長 水道水の有機フッ素化合物については検出されていないと認識しているが確認をさせていただきたい。

■小中学校適正配置について

- 町 民 栗山町立小中学校適正配置計画の一般会議を傍聴した。これについてはまだまだ先の話だと思っていたが、令和 9 年度となっていた。この通り進むのか。検討委員会の委員はどのような方々なのか。
- 教 育 長 検討委員会を開く前に、地域と PTA、子どもたちの意見を集約してきた。そういった経過もあるので連合町内会等々には入ってもらっている。また、この検討委員会には私の私見が入っては良くないので一回も参加していない。地域の委員の方々の意見を集約して、それを私が預かって町に提出した。座長には公平公正を保てる方として文教大学の発達心理学の教授にお願いした。高校の学校運営協議会の会長にも就いており、地域の問題について発達心理の部分からも意見を言え、偏ることなく公正公平に意見を集約できる方である。その答申として私が受け取った。保護者や、各学校の方からの意見が一番多かったのは、とにかくすぐやって欲しいということだった。ただ、教育のすり合わせや、行事のすり合わせなどひとつひとつ手順を踏んでクリアしなければならないので 2 年はかかる。栗山町では中学校が 1 校なので小学生が中学生に上がる時困らないように小学校同士の連携や小中の連携事業をやってきた。それを小中一貫教育といって、小中一貫校ではない。入学者が継立小学校 1 名、角田小学校は 4 名になってしまう 2 年後を目指していくといった内容を取りまとめて、町の総合教育会議に報告した。教育委員会が誘導することはなく、地域の方の話をまとめてきた。
- 町 長 地域の衰退とか心配されていると思うが、今はまだ町が議会と情報共有している段階。町民の皆さんがどのように考えているのかを議会と町で議論していく。これからどうなっていくかというのは議会と調整しながら。過程で地域に説明をしていくことになる。
- 町 民 今の子どもたちの状況・様子を調べているのか。時間がびっしりの中での学校生活。ゆとりのない子どもたちがたくさんいて、先生たちも準備やら大変な思いをしている。こどもが一人になるまで頑張ってもらいたい。保育所が無くなっただけで子どもの声が聞こえなくなった。一つの学校にするのはどうなのかということをもっと話し合ってもらいたい。
- 教 育 長 PTA の皆さん、子どもたちの意見を尊重することは徹してやってきた。先生たちからも意見をとっている。一番大きかったのは PTA からの一緒にしてほしいという意見。手順をきちんと踏んで議論が進められてきたものを私が受けとった。子どもたちの願い、保護者の願いを後回しにすることはできないという印象を受けている。

■マイナ保険証について

- 町 民 マイナ保険証のトラブルによる個人の 10 割負担にならないように考えているということだが、考えてみたら、そのために役所や医療機関が大変な思いをするしお金もかかってしまう。マイナ保険証と紙の保険証を両方使えばそんなことになる。数字で監視されてしまう不安がある。どこから情報が漏れたのか知らないが最近だけで詐欺の電話が 4 回もかかってきた。デジタル医療を目指していくということだがマイナナンバーカードを取得していない人が 2 割以上いる。マイナ保険証で受診している人は 15% 程度。私のように不安を抱えている人が多いと思っている。少数の声を国に届けてもらいたい。
- 町 長 この制度は町がやっている制度ではなく、国が進めている制度。町としてはなるべくスムーズにいくようにわかりやすく情報提供しながらおしらせしていきたい。国に対しては、栗山町だけでなく、全道・全国の町村会を通じて混乱を招かないように進めてもらいたいという要望をしており、今後もしていきたいと思っている。

■マイナンバーカードについて

- 町 民 町内の高齢者と話していると、マイナンバーカードとマイナ保険証は別々なものだと思われている人がいる。マイナ保険証はマイナンバーカードに登録することで使えるようになるということをもう少しわかりやすく伝えるようにしてほしい。
- 住民保健課長 マイナンバーカードとマイナ保険証の関係で、例えば老人クラブや町内会、グループなどで希望をいただければ個別に出向き説明させていただきたい。広報くりやまに掲載させていただいているが、なかなか読み切れないと思うので、お話をさせていただける場面があれば出向き説明させていただきたい。マイナ保険証の登録は役場でも医療機関でもできる。

■高速道路について

- 町 民 将来的に栗山町を通る高速道路があればよいと思う。仕事の都合で毎日美唄まで通っているが、たまに職場で栗山周辺に高速道路が通っていただければいいと話題になる。美唄から苫小牧には車で2時間かかり、高速を使って一度札幌までいっても1時間半。栗山周辺に高速道路があれば1時間程度でつくと思う。すぐには実現しないだろうが、三笠から追分付近、くりやまにもインターチェンジがあれば最高にいいと思っている。
- 町 長 高速道路の関係は、公団、国の事業の関係になるが、栗山のように道央圏の高速道路の通っていない地域で新規に通していくという話は出ていない。国が一番力を入れているのは道東道の釧路に通していこうというのに力を入れている。現在は道路交通の利便性を高めるため234号の交差点の拡幅を進めながら最終的な4車線化を進めている。高速道路の関係は機会があれば要望に組み込んでいければと思う。